

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	IQLino伊丹校		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		2025年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	質の高い支援の提供。	個々のニーズや必要性に応じて、専門的支援計画を作成し、支援している。	実施を継続していく。
2	ペアレント・トレーニングの実施。	保護者支援として、利用者の保護者対象に年に5回(月1回の連続講座4回+フォローアップ1回)のペアレント・トレーニングを実施している。	ペアレント・トレーニングの効果を検証し、プログラムの改善に努めていく。
3	多岐にわたる内容の研修の実施	虐待、感染症、支援の記録の仕方、応用行動分析に基づく具体的な支援方法、パソコン操作スキルなど、多岐にわたる内容の研修を実施している。	研修を実践に生かすことができているかを評価し、より必要な知識やスキルに特化した研修を実施することを検討している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けていない。	開校して1年未満ということもあり、地域の児童発達支援センターとどのような連携がとれるかなどについての情報を収集できていなかったため。	地域の児童発達支援センターがどのようなことをしているかを調べ、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けられるよう検討していく。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行なえていない。	事業所のイベントが利用者向けに行っているものしか開催してこなかったため。	事業所内を開放して自由に地域の方を招待することについては、十分な広さを確保できず実施が困難であることから、地域の行事に職員が参加して事業などを理解してもらえる機会を検討していく。
3	きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行なえていない。	保護者向けに学習会などは行ってきたが兄弟同士で交流する機会をイベントでは開催できなかったため。	感染症対策に十分に気をつけて、家族で参加できるようなイベントなどを開催できるよう検討していく。